

119

The Kokusai Manga

No. 11.



畫論に凝て筆法ところを所を國東正く點の

ゆいをもるゝれゝ 京人の説と活動ゝ疾疾

金沢の良医なる我を所所要画人も亦然り

古は傳繩張ぬけいそを盡くもゝゝゝゝ

画をくゝゝゝゝを上手ゝゝゝゝゝゝゝゝ

独此の初めゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

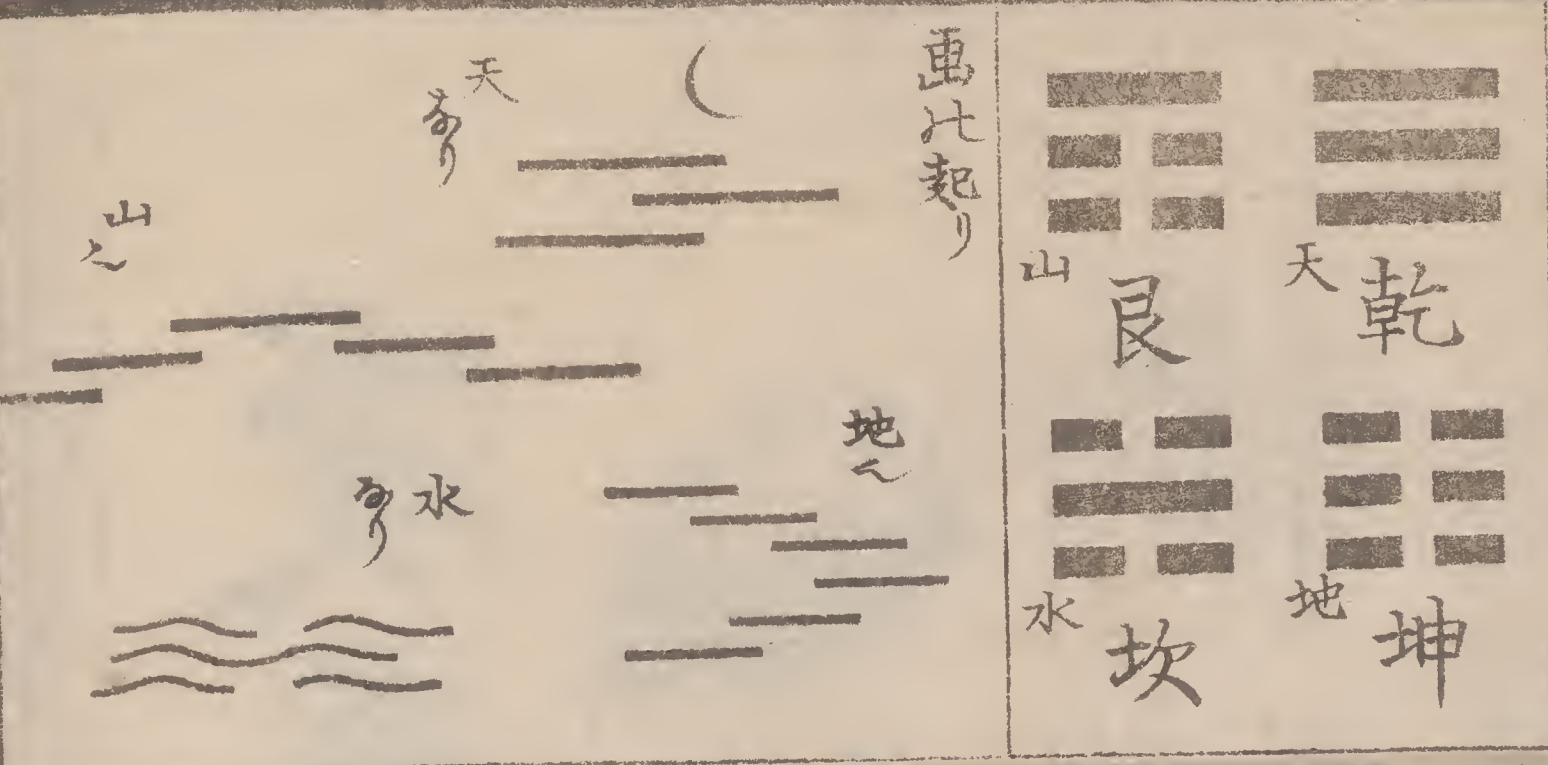
画之味風骨格致の趣道と嫌ひて山ゝ雲ゝわゝ

知者の人々に似てゐるものと云ふ真の如きものを得て生かすは、
此の道を開く往々大に難いものなり。さういふ事を、
此の序の如きものを書くに既に十卷刊のなり。これに
能くする需を多しと云ふ。猶ほ其の事、或は又漏れ
れり。と云ふは、表裏ぬる編を以て、廿編を以て全部と云ふ
ことを、はたして存するの事、亦た勝れり。尤も、あるもの
は、折るべき種あり

漫画

新







つづら
占

ふけとやゆらふ
神ふりれと八雲のく人ふ占ふせむ

度會は太夫より
このとあり

哥占

まき系は
ぐひあり
野良猫の
余は崩れ
あなう世乃中

けいけん
鶏犬の声に
吉凶を知ら



勝敗
やうな







天人の
でんぐ
とせ

平の忠
り
ち後



く物
れ
えかえ



きねんの
大との
ひる



玉子箱乃
まちぢい

下部の
ね
ひやう





ちうろたび
あめとみれ
うごち

かゝや
どりまや
あむる



うきみ

あこ
ふち



あろうと
すぬう



あ
すぬう
二むん
どう

はま
どう



北斎漫画 十編
 江戸 十編



上斎漫画 二編



北野漢方十編
 卷之十一
 雜考



わね
 すみ

三尺
 すみ

五尺

上野漢方十編



あま
 すみ

きり
 すみ

すみ
 五



土俗話集
上巻
二
三

三

上巻 漫画 二編
 羅漢漫画 二編
 羅漢漫画 二編

羅漢舞

そのはまは
 らかんハ

こやつてサ

こやつて

こやつてサ

あかん

かん

あかん

さそ

そのはまは
 らかんハ



こやつて

こやつてサ

こ

かん
 らかん

里田



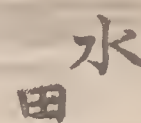
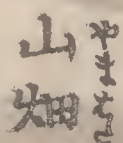
山家
 田



上巻 漫画 二編

二

山の編



北齊書卷之十一

伐木溪を下す



山中
時雨



安志尾の裏山
庚申山猿が津出



二王石

あーれさん うらやま
安志尾の裏山
くろんさんさういざうど
庚申山猿が津出

産石

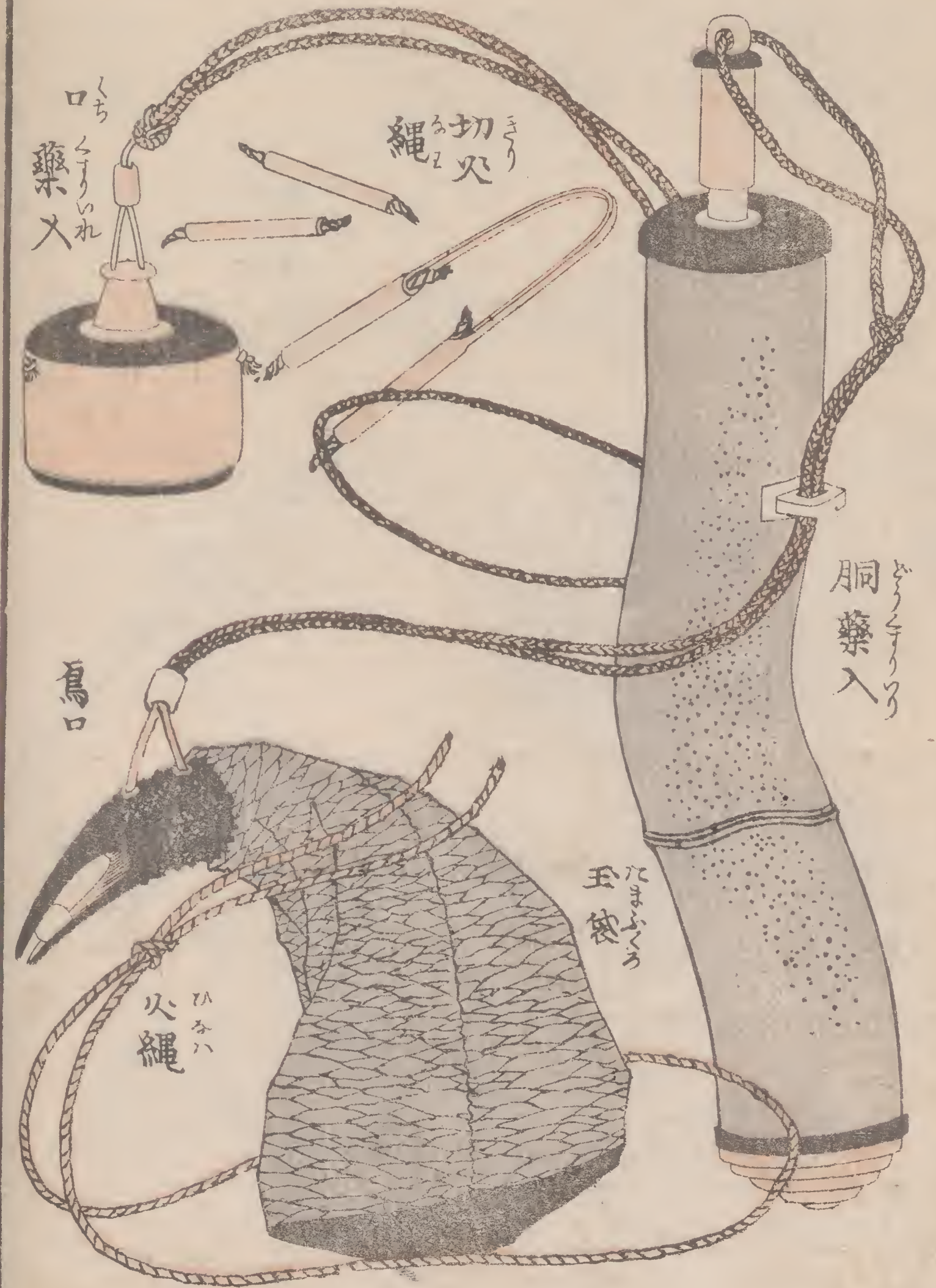
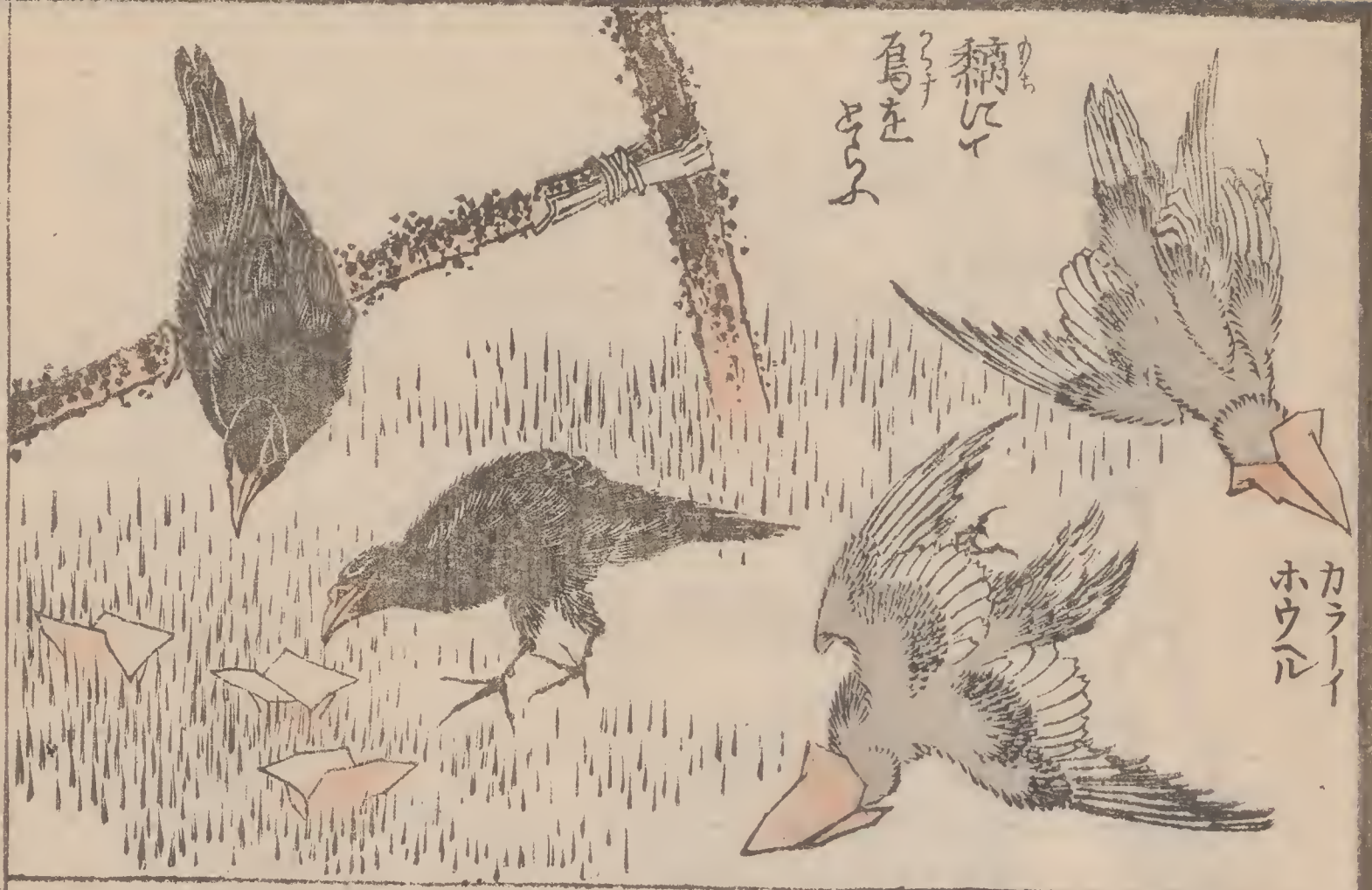
自然の
石橋

裏見が
飛泉



安志尾の裏山







海魔



大鳥
蜜國の
獵人
赤ん形

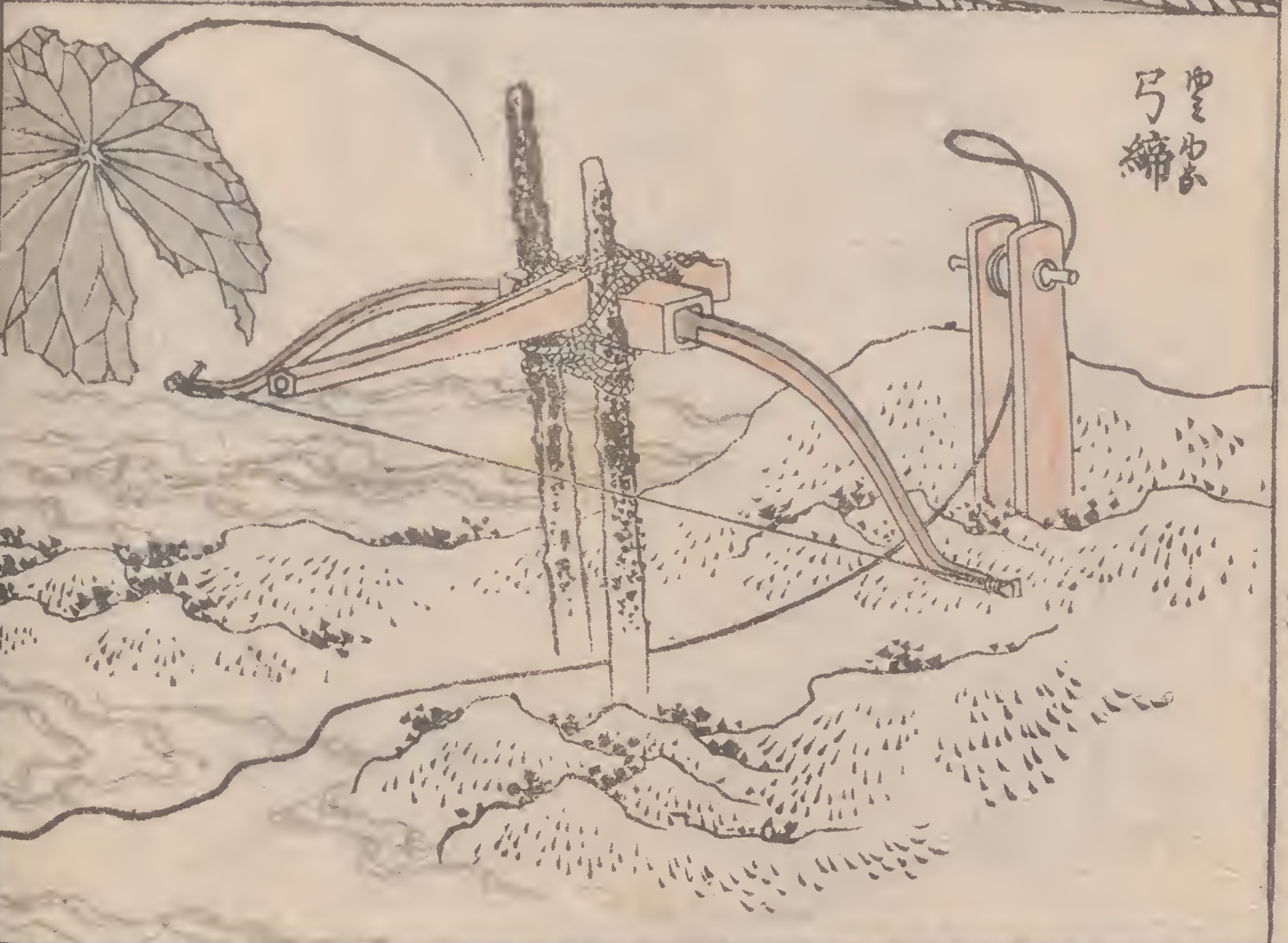
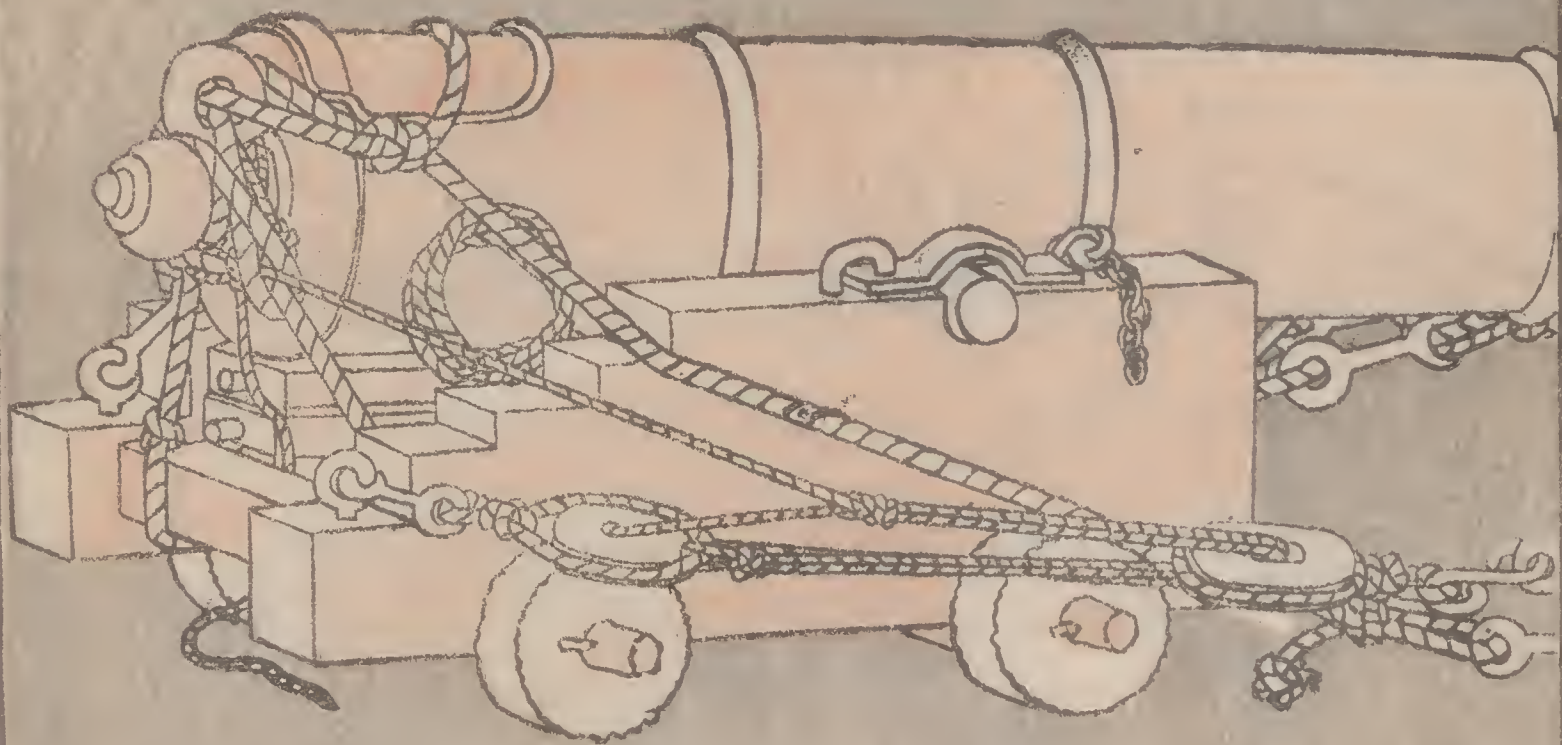


猛獸を
伐れ圖

火槍

上野漫角二編
海魔
大鳥
蜜國の
獵人
赤ん形
火槍

似西洋銃
海魔寺



弓締

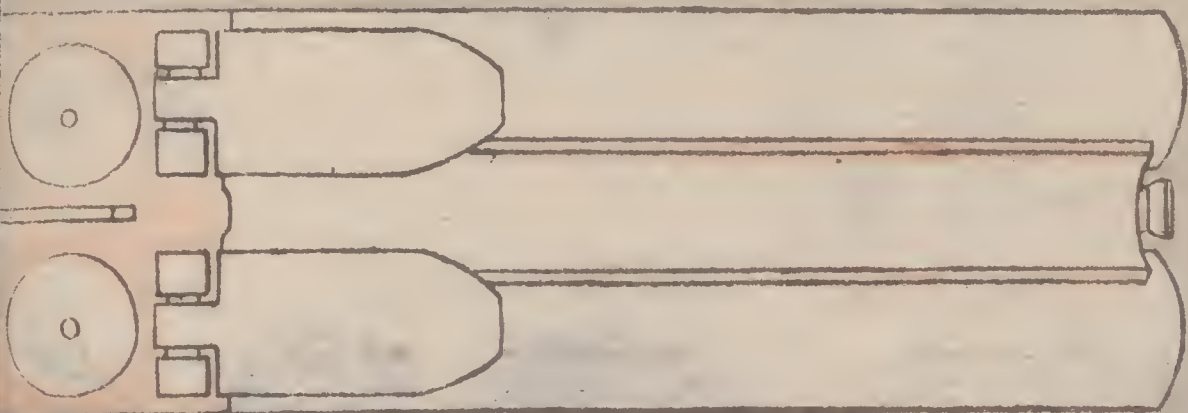


韃將似雙穴
短炮明兵歩

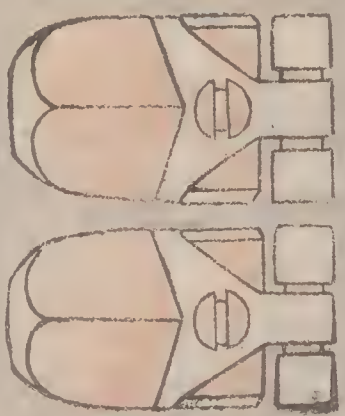


雙穴之短炮

火門 面裡



脊面之形



火口脊面

石 挟



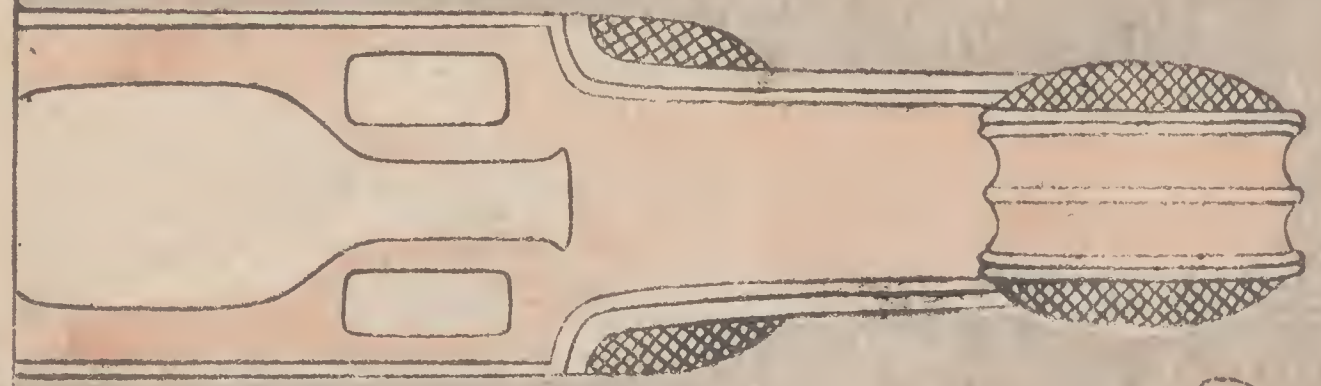
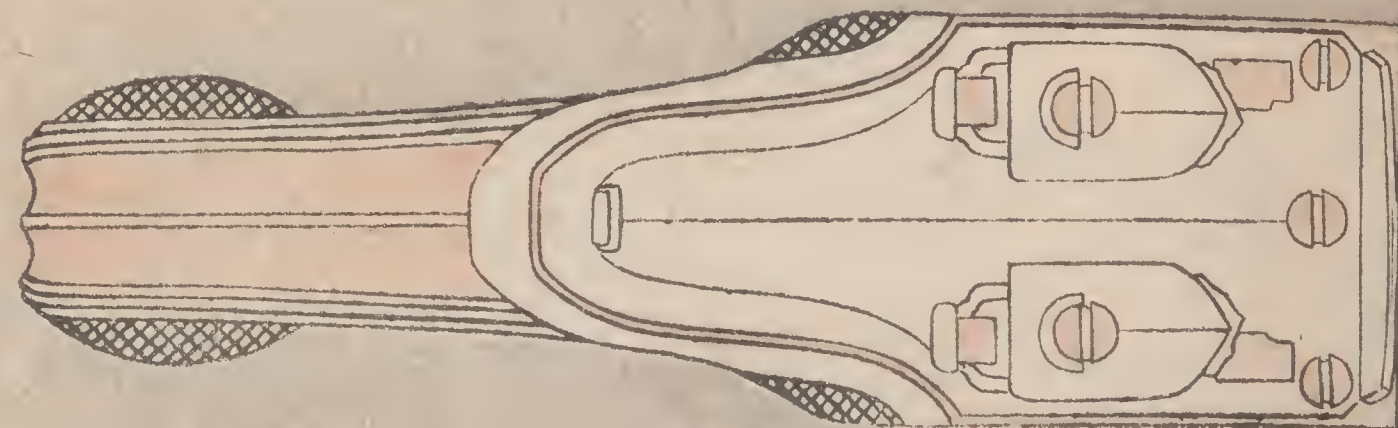
側面全圖

引金

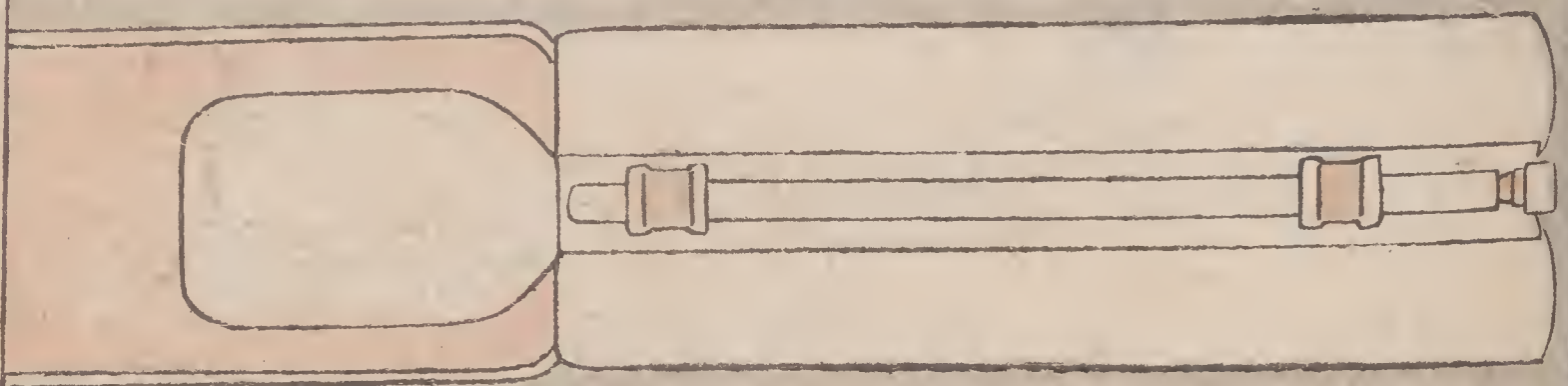


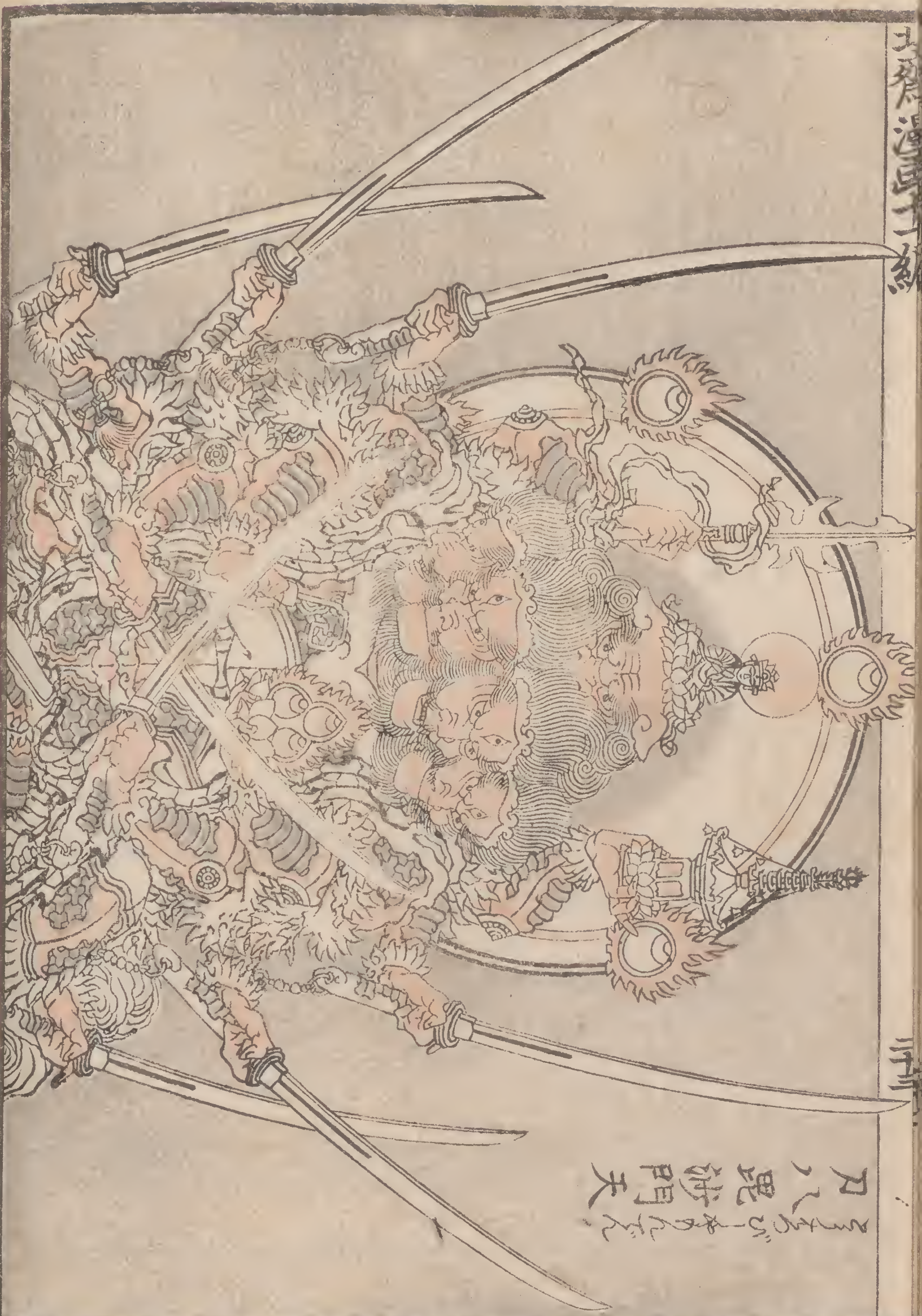
火口側面

裡面之形



裡面二



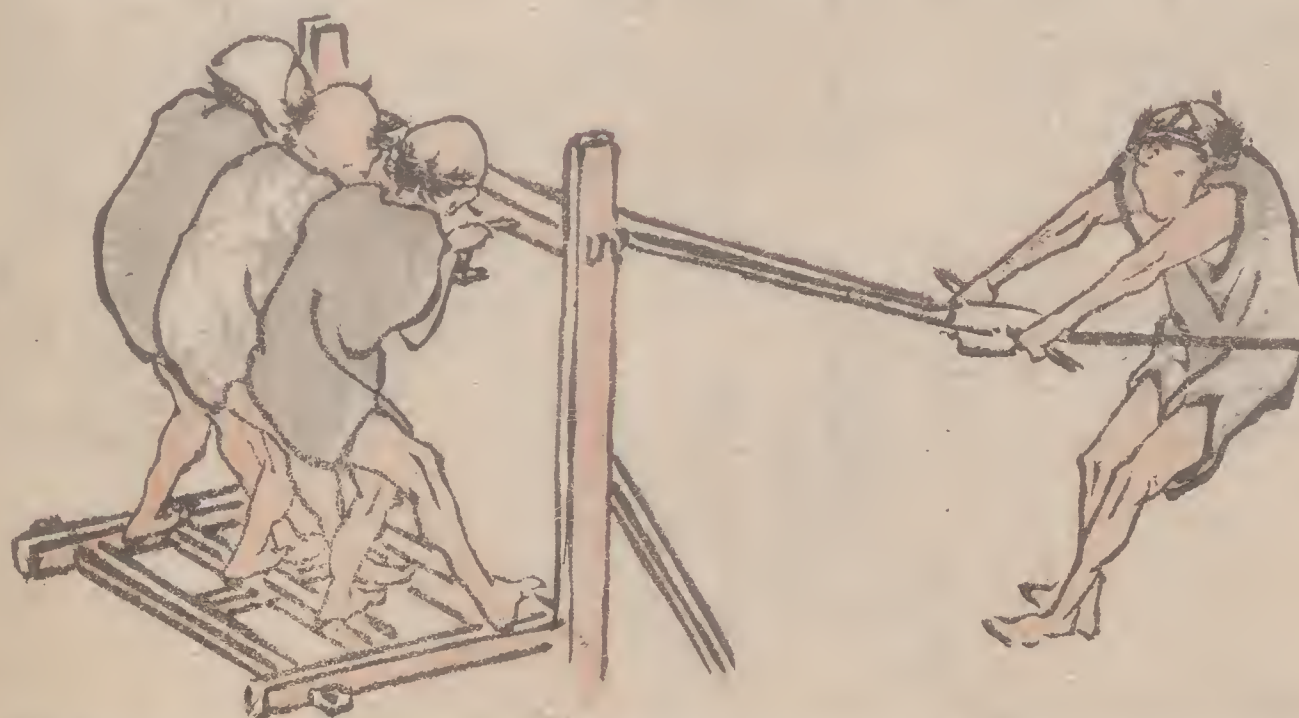
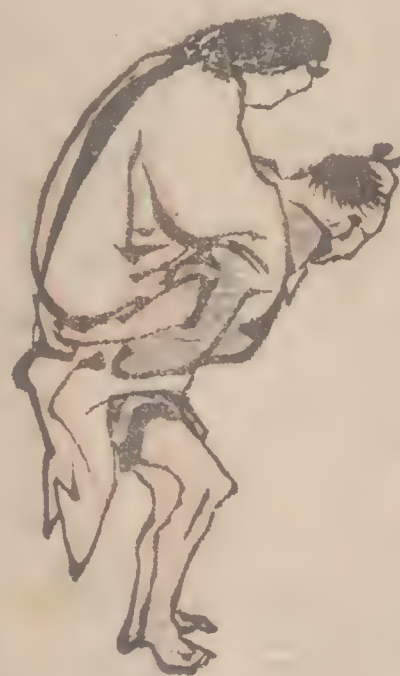


刀八毘沙門天
ヤチハヒサモンテン





略
編
の
画

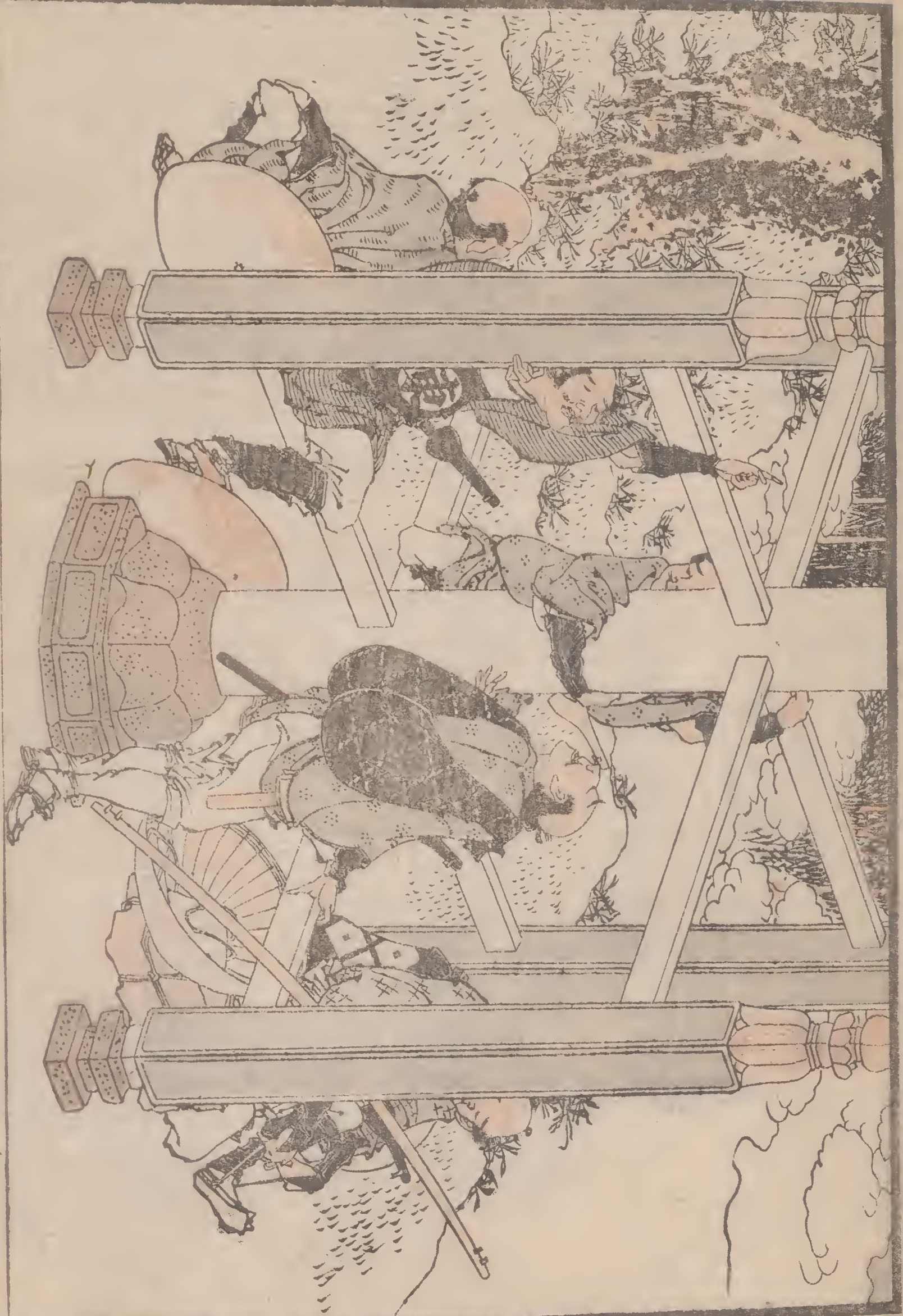




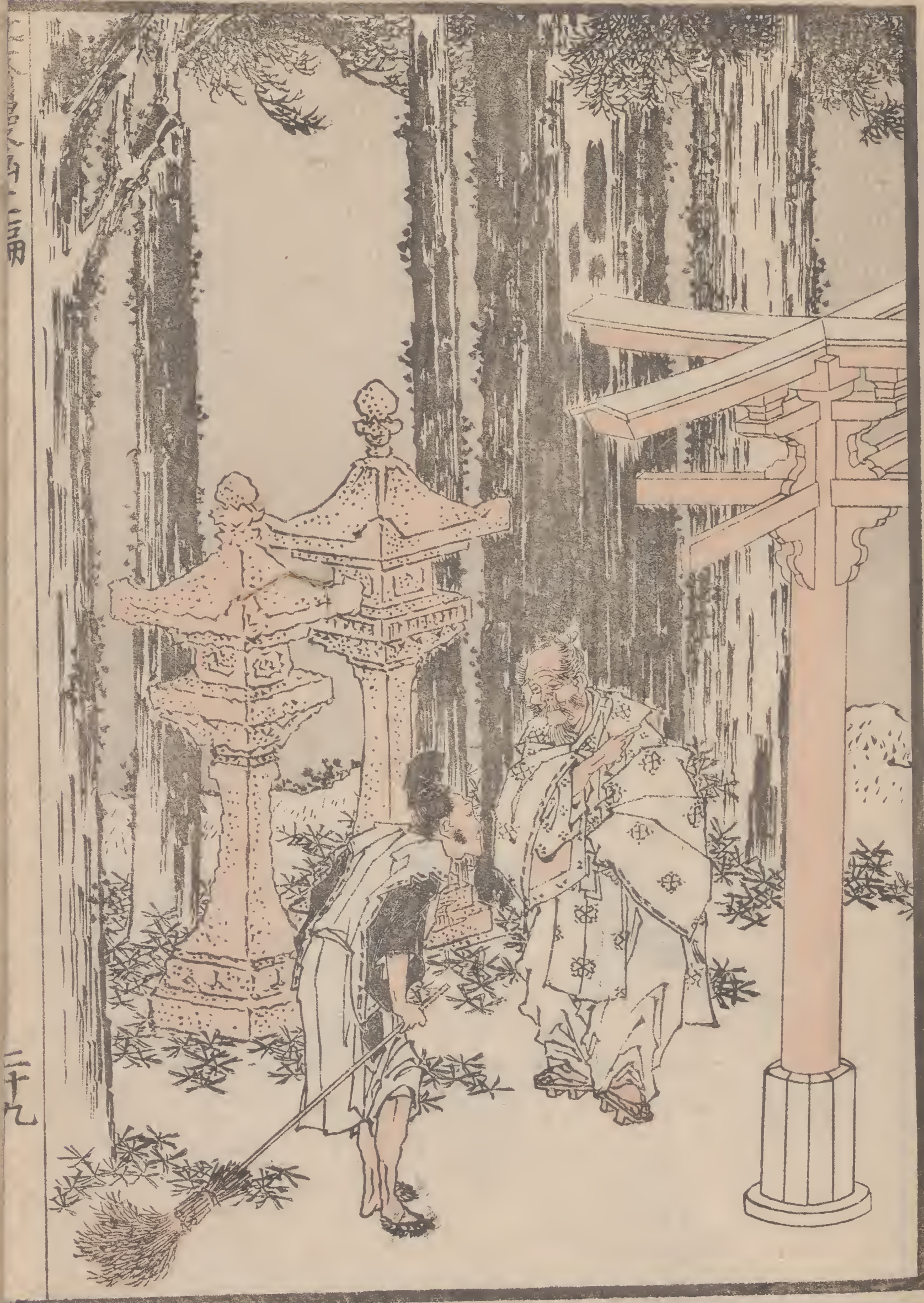


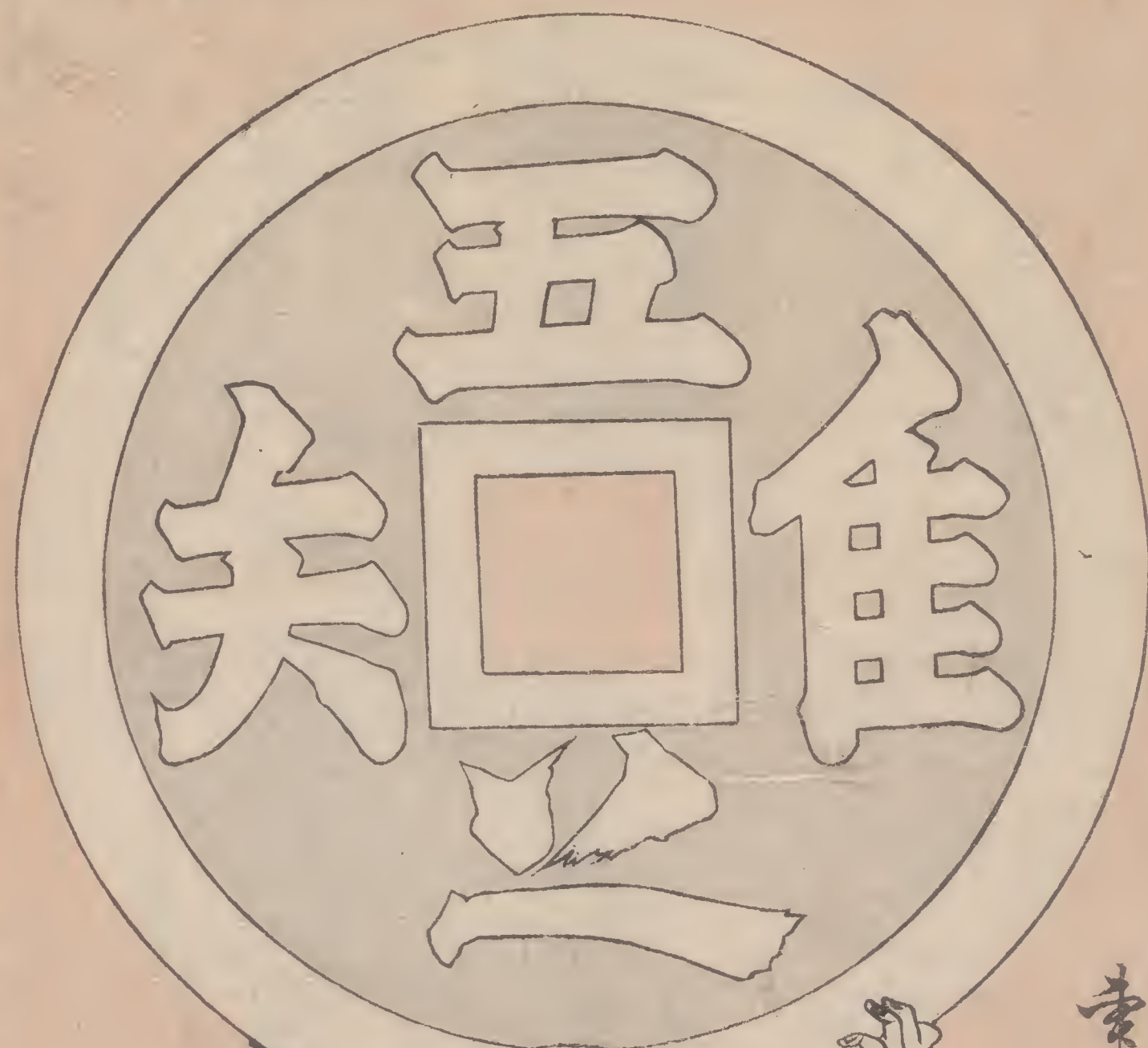


層
論
塔



三才鳥極
さんさいとりわ





素多の里に

はるかに

るるる



るるるるる

るるるるる

蕙齋鹿画初編

彩色入

全一冊

同 二編

同

全一冊

一筆画譜初編

同

全一冊

此二書ハ略画の臨本ハ一々名家の筆の力を得て... 工巧を以ていふ所人にも早速... 一筆便と形... 余亦これに... けと... 録あり...

両筆画譜初編

彩色入

全一冊

け画譜ハ浪蕪の立好無東都の北無の雨筆... 彩色を以て... 狂歌... 余亦これに... う... 久の... の... 録... 全一冊

By Hokenan
Date 1875

Ms. 12
14